

現地農業情報（沖永良部島・与論島）令和7年6月

（1）沖永良部地区農業青年クラブ連絡協議会総会を開催

6月26日、知名町フローラル館で、沖永良部地区農業青年クラブ連絡協議会総会が開催されました。総会では、令和6年度活動実績報告、令和7年度活動計画案並びに役員改選について承認されました。令和6年度は、群島交流会や青年農業者会議などの活動報告の他、農産グランプリの優勝報告がありました。また、来賓の指導農業士より励ましのことばを頂き、青年クラブ員もやる気を漲らせました。沖永良部地区農業青年クラブ発展のため、関係機関一同、今後も引き続き支援を続けていきます。



（2）かごしまブランド沖永良部ばれいしょの出荷実績

令和6年産のJAあまみ和泊・知名のばれいしょ出荷実績（6月末現在）は、面積613ha（前年比97%）数量8,675t（前年比95%）金額27億25百万円（前年比150%）でした。天候不良による植え付けの遅れや11月上旬の大雨による被害がありましたが、12月中旬から作物の生育が回復し、その結果、販売金額は初めて20億円を超え、前年よりも大幅に増加しました。今後も安定した生産を続けられるよう関係機関と連携して支援していきます。

（3）かん水を行ってニンニクの収量UP

ニンニク栽培で、かん水チューブ（スマレイン）を用いたかん水効果の実証を行いました。かん水区は無かん水区と比較して、地上部の生育が良く、鱗茎肥大も良かったため収量が増加し、10a当たりの収量は無かん水区比146%でした。また、実証農家からはスマレインを用いたかん水は水の粒が細かく、均一に散水できるため、かん水ムラが少なく、短時間でかん水できるとの意見が得られました。今後は生産者に実証結果の周知を図り、水利用の促進につなげていきます。

（4）新規就農者に期待！励ましの会を開催

6月26日、知名町フローラル館で、新規就農者励ましの会を開催し、令和6年度に新規就農した和泊町3名、知名町3名のうち3名が出席のもと、指導農業士、青年クラブ、女性農業経営士を含む52人が参加しました。新規就農者は自己紹介と併せて「規模拡大や新たな品目、販路拡大などにも取り組みたい」など抱負を述べました。両町長の励ましの言葉、支援体制や4H Cの紹介等を行い、関係機関一体となって激励しました。新規就農者が営農定着できるよう引き続き支援していきます。



(5) サシバエ防除で牛のストレス軽減，飼育環境の改善を学ぶ

6月27日，令和7年度徳之島地区牛伝染性リンパ腫研修会（主催：鹿児島中央家畜保健衛生所徳之島支所）が，和泊町えらぶ長浜館で開催され，畜産農家や関係機関・団体等から約40名が参加しました。北海道大学の教授による牛伝染性リンパ腫に関する講演の後，農業普及課が本病を媒介するサシバエの生態や効果的な防除法について説明しました。吸血虫であるサシバエを防除することで牛のストレス軽減による生産性向上につながることから，今後も積極的に情報発信を行っていきます。